

2021年10月18日
立教大学経済学研究科

[お知らせ]2022年度経済学研究科博士課程後期課程
入学試験(春季実施分・2022年1月)出願書類について

立教大学経済学研究科では、2022年度博士課程後期課程入学試験(春季実施分)について、出願書類の取り扱いを、以下の通り行うこととなりましたのでお知らせいたします。

1. 「一般入学試験」「外国人入学試験」ともに、従来実施していた英語筆記試験を廃止し、出願書類として以下のいずれかの「英語資格・検定試験スコア」証明書の提出を求めます。
※「外国人入学試験」において、英語を母語とする受験生は「小論文(日本語)」の受験が必要です。詳細は入試要項でご確認ください。

- ・実用英語技能検定(英検)(4技能のみ)
- ・TOEFL iBT(TOEFL iBT「Special Home Edition」,「Home Edition」及び「Paper Edition」はいずれも不可)
- ・TOEIC L&R(IPテスト不可) 及び S&W(L&RかS&W、いずれか一方のみの提出は不可)
- ・IELTS(Academic Module)
- ・ケンブリッジ英語検定(Cambridge English Qualifications)

出願期間の初日から遡って2年以内に受験したもの(2019年12月14日以降受験分)が有効です。

2. 原則出願締切日までに「証明書」データを提出することが必要ですが、これから英語外部試験を受験されて2022年度春季入試に出願する場合、**2022年1月10日までにスコア証明書を発送**
予定の試験については、インターネット上で発表されるスコアデータ情報または試験結果を印刷しデータ化(PDF等)したものの提出を認めます。ただし、入試に合格した場合、入学手続締切日までにスコア証明書原本のデータを提出する必要がありますので、ご注意ください。
3. 出願期間内の「証明書」データのアップロードが難しい場合は、必ず事前に学部事務2課経済学研究科担当へご相談ください(E-mail: eco-admission@rikkyo.ac.jp)。事前相談がなく、出願締切日までに提出できない場合は出願を受理しません。詳細は入試要項でご確認ください。

入試要項は2021年10月末より大学ウェブサイトにて公開予定ですので、詳細はそちらをご参照ください。なお、今後の状況によっては、入試実施方法に追加の変更が生じる可能性があります。

以上